

ニュースレター

「100G コヒーレント PM-QPSK 超高速光伝送とプラスチック・ファイバや マルチモード結合系の最先端シミュレーション・ソフトウェア OptSim5.2」

日本アールソフトデザイングループ株式会社(代表取締役社長 尾崎透徹 東京都港区芝 1-9-6)は、米国 RSoft Design Group, Inc.(RSoft 社)が開発した光通信システム・シミュレーション・ソフトウェア OptSim5.2の販売を2010年12月20日より開始いたしました。価格は4,368千円から、初年度販売見込み20本、主に光ファイバ・メーカー、レーザー、光部品/光半導体メーカー、アクセス装置メーカー、ネットワーク設計・管理メーカー、光関連研究機関、大学等に拡販する予定。

OptSim5.2は、100GコヒーレントPM-QPSK、双方向イーサネット・ファースト・マイル(EFM)、マルチモード伝送におけるモード結合、プラスチック・ファイバ・システムをモデル化するための理想的な環境です。最新のLMSアルゴリズム・ベースのトレーニング・シーケンスで動的な位相追跡機能や、レーザの位相雑音のような動的な現象を明らかにする意思決定型等価器が新たに追加されました。また、コヒーレント受信の様々な不整合の影響を組み込むことができるように、受信局発振器の周波数と位相が一致していないモデルも含まれています。最新のデジタル・コヒーレントPM-QPSK、OFDM、D(Q)PSK変調システム・モデルや、マルチモード光伝送システム的设计・開発では高機能なシミュレーション・ソフトウェアが必須となります。

OptSim5.2の主な特徴

- 100Gbit/s デジタル・コヒーレント PM-QPSK 光位相変調方式システム・デザイン
- 600種類以上の光部品、ファイバ、CATV等のライブラリやポアンカレ球表示機能
- Split-Step 時間軸シミュレーション・エンジンで超ロング・ビット伝送の解析が可能
- プラスチック・ファイバやモード結合系のデザイン
- MATLAB バージョン R2006a から R2010b をサポート
- 先進のバージョン・アップ管理機能
- OptSim5.2はWindows XP VISTA環境で稼働します。
- 記載されている社名や製品名は各社の登録商標または商標です。

より詳細な情報は

日本アールソフトデザイングループ株式会社

〒105-0014 東京都港区芝 1-9-6 マツラビル 2F

電話：03-5484-6670 FAX：03-5484-2288

URL: <http://www.rsftdesign.co.jp/>

Email: akagi@rsftdesign.co.jp

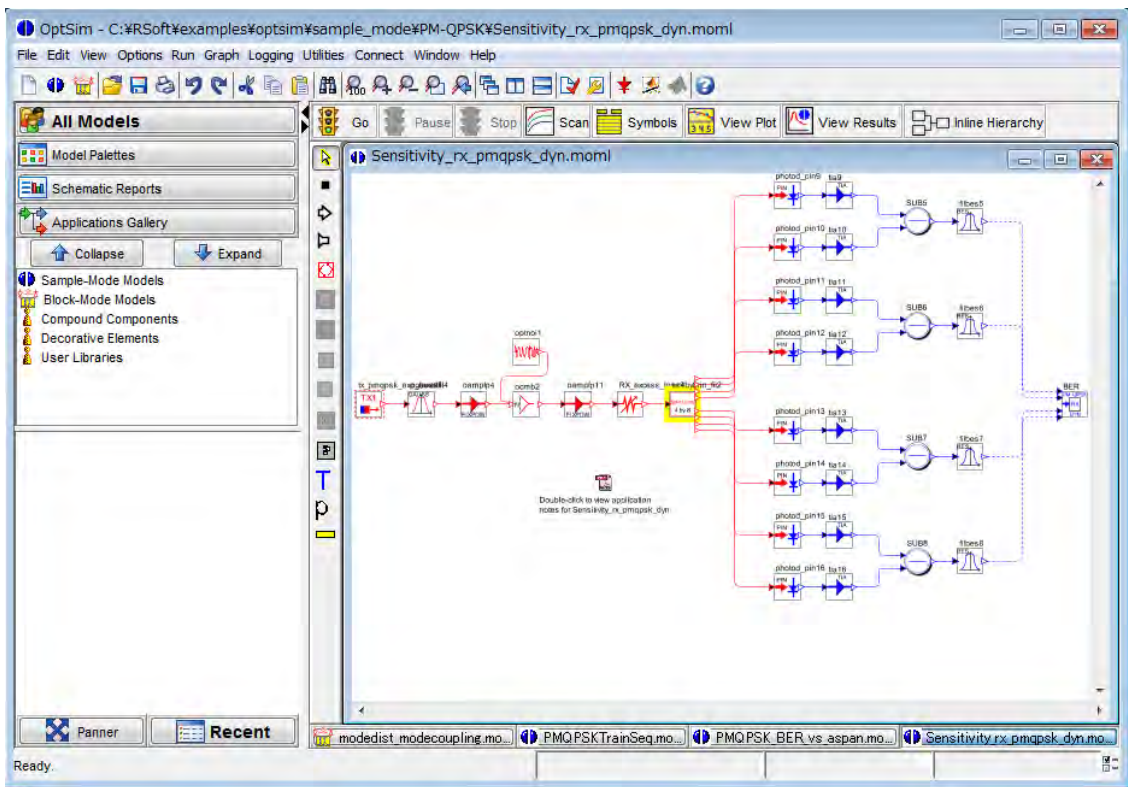


図 PM-QPSK モデル

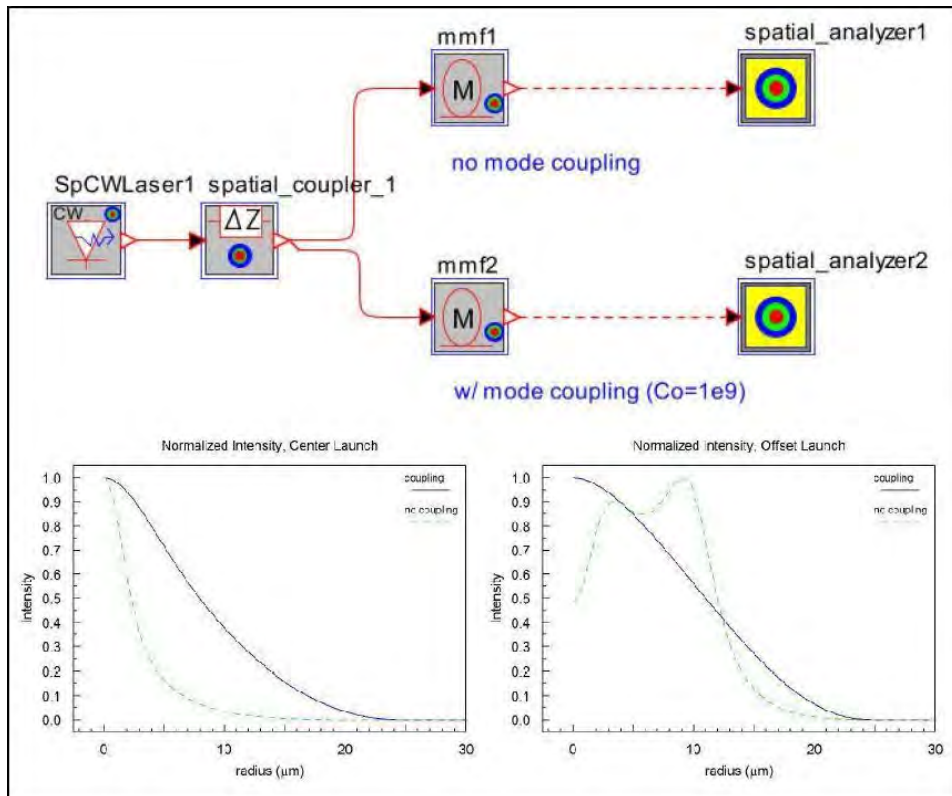


図 マルチモード・ファイバ内のモード結合